

2008.11

発行 山形県立小国高等学校 Vol. 45

小国高校 ジャーナル

www.ygt-oguni-h.ed.jp

創立60周年 記念式典挙行

10月17日（金）本校の創立60周年記念式典が行われました。

校長あいさつ

校長 齋藤 裕司

多くのご来賓、町民の皆様のご臨席を賜り、本校創立60周年記念式典並びに記念講演会を盛大に挙行できましたこと、厚く御礼申し上げます。また、生徒たちの手による「花回廊めぐに」では、ささやかな感謝の気持ちを表し、町内の通りを華やかに彩ることができました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。

本校は、戦後の混沌とした中で、地元の熱い期待を受け、昭和23年4月に定時制高校として開校いたしました。創設時から今日に至るまで、地域の皆様から物心両面にわたりご支援ご尽力を賜り、社会情勢の変化に対応しながら教育内容の改編・充実を重ねて現在まで発展してきました。卒業生は5900名を超え、町内外で活躍されており、本校の心強い支えであり誇りであります。今日まで本校を支えていただいた町当局、町民の皆様、本校の歴史を築かれた歴代校長、教職員、同窓生各位に心から御礼を申し上げます。

創設時に込められた地域の方々の思いや苦勞を忘れずに、地域に根ざした高校づくりに教職員一丸となり取り組んで参りますので、今後とも、関係各位の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げあいさついたします。

小国高校60周年
記念講演会

午後には、五輪女子マラソンで2大会連続でメダルを獲得した有森裕子さんの講演会が開かれました。「よろこびを力に・・・」と題された講話に生徒・職員・中学生と一般の方、約600名が聴講しました。

アメリカコロラド州短期留学

小国町の多大なご支援を受け、今年度もアメリカ・ミッチェル高校へ留学に行っていました。

3年2組 渡邊真衣（南部）

私はコロラドスプリングス短期留学で様々な体験をしました。日本語が通じない場所で自分の英語力だけを頼りに2週間過ごしました。期待することは多かったのですが、やはりはじめはとても心細く、不安のほうが大きかったです。しかし現地の人たちの明るさと、ホストファミリーの支えがあって、自然と不安は消えていきました。

留学中には乗馬も体験しました。コロラドにはいまだにカウボーイが存在します。馬を操るのは難しく、思うようにはいきませんでした。乗馬の次の日は筋肉痛になるほどでした。コロラドは自然豊かで野生動物が家の庭にいることも珍しくないということでした。

コロラドで素晴らしい経験ができたのも、小国町からの援助と、小国の家族の支えがあったからだと思います。私を受け入れてくれたホストファミリーにも感謝の気持ちでいっぱいです。出会えて本当に良かったと思います。これからも短期留学で出会った人とのつながりを大事にしていきたいです。またホストファミリーに会いに行きたいです。



3年2組 渡邊千穂（町岩東）

コロラドの気候は思ったより暖かかったのですが、乾燥しているので肌が荒れて大変でした。ホストファミリーは5人家族でお母さんと4人の姉妹がいました。一緒にベニス高校に通ったのは長女のジャメカで、私は彼女をミカと呼んでいました。

ベニス高校では英語、日本語、ドイツ語の授業を体験しました。アメリカの生徒は挙手発言が積極的で、授業はいつも活気のあるものでした。放課後はミカの所属しているチアリーディング部を見学して過ごしました。

私はアメリカの食文化や、コミュニケーションの取り方に興味がありました。実際にアメリカで生活してみると、驚きがたくさんありました。朝ごはんはおかずが多く並ぶことはなく、シリアルなど簡単な食事が当たり前でした。コミュニケーションをとる時も、男女関係なくハグをするのが当たり前で、戸惑うことも多々ありました。

2週間の滞在で、修学旅行では学べなかった異文化を多く知りました。アメリカはもう怖くありません。機会があればまたホストファミリーに会いに行きたいです。



認知症サポーター養成講座

10月20日(月)

認知症の人やその家族を見守り、支える「認知症サポーター」の養成講座を本校を会場に1年生が受講しました。これは、厚生労働省が05年度から始めた事業で認知症高齢者が増える中、地域に認知症の理解者を増やすことを目的としています。

県内の高校で、すでに実施している学校もありますが、置賜では本校が最初の実施校となりました。小国町の高齢化率は(07年度調べ)県第3位となっており、「独り暮らしの方が多し」という特徴があります。独り暮らしでも住みやすい小国町なのでしょう。認知症で困っていらっしゃる方のサポートがすぐに出来ることは難しいと思いますが、やさしく話しかけ受容することの大切さを学びました。オレンジ色の腕輪をいただき自分に出来ることを考えた時間となりました。



普通救命講習会

10月16日(木)

本校武道館を会場に普通救命講習会が実施されました。生徒の中で進路先として医療福祉関係や消防士・警察官・自衛官などを希望している生徒を対象にした、3時間の実技を伴う講習会です。

長時間にわたる講習ではありましたが、参加生徒は真剣に取り組んでいました。講習の後半にはAED(自動体外式除細動器)を一人ひとりが確実に使用できるように、実技実習をしました。講師として来校いただいた西置賜行政組合消防署小国分署の方々に細部を質問しながら意欲的に取り組み実践的な技術力を身に付けました。

総勢40名に「普通救命講習修了証」を交付されました。人命が危機に瀕しているような事態に遭遇した場合には講習で得たことを臆せず発揮して、救急車の到着までしっかり命をつないで欲しいものです。



チャレンジショップ in アスモ 10月18日(土)

昨年に引き続き本校生徒2年生による「チャレンジショップ」がアスモ内の喫茶コーナーをメイン会場に行われました。町内のお菓子屋さんのご協力により、それぞれの店の人気商品や通常は販売されていない限定商品を集め販売しました。

店との交渉からレジ内、その他広報活動としてポケットティッシュや三つ折パンフの配布、POP広告の作成さらに人寄せのためのイベント「ヨーヨーすくい・玉こんにやく販売、エコバック販売など、様々な分野の活動を生徒がそれぞれ分担し実施しました。

途中注文を受けたにもかかわらず在庫が足りなかったなどの失敗もありましたが、アスモの栗田さんはじめ町内の様々な方々のご協力により無事終了することができました。

